

# 大阪広域環境施設組合 鶴見工場へようこそ

この部分に、自由に入力していただけます。



大阪広域環境施設組合 鶴見工場をヴァーチャルで見学しました。

鶴見工場では、ごみを燃やして出る熱を利用して電気をつくっており、工場内の暖房や給湯に利用するほか近くの建物へも電気を送っています。

年間の発電量は約7万Kwhで、これは家庭にすると、約2.2万軒に相当します。

鶴見工場は、1日に約600トンのごみを燃やすことができ、その熱を利用して1時間に1万2千キロワットの電気をつくっています。

見学では、ごみを受け入れる「プラットホーム」や「ごみクレーン」、1日24時間のあいだ機械の動きを監視している「中央制御室」のほか、「水素で走る未来のクルマ」、小学校のお友達が取り組んだ「生き物さがし」などを見ることができました。



焼却工場と仲良くなろう

## 鶴見工場見学記念号

【入力例】

「〇〇小学校 4年生の皆さん」  
等と、入力してご利用ください。

空から見た  
焼却工場

1階 灰ピット



灰等が溜まってできたクレーン



焼却炉の中は850~950度の温度があります。



1階 プラットホーム



1階 ごみピット



2階 中央制御室



ISO14001取得

環境にもやさしい工場です。

2階 蒸気タービン



中央制御室では、24時間、職員が監視をしています。



1時間に12,000kwの電気をつくることができます。

6階 クレーンを運転するクレーン操作室と見学者ホール



6階 鶴見工場へ見学に来てくれた4年生の皆さんが【環境】をテーマに画いてくれた作品を展示しています。

